



NFC所蔵外国映画選集 2016

東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール(2階)

2016年11月10日(木)-23日(水・祝)

所蔵外国映画の中から、日本語字幕付きの12本の作品を上映！

トーキー初期から第二次世界大戦前夜の1930年代を中心に、東西冷戦時代に突入した1950年まで



「アウシュウィツの女囚」

このたびフィルムセンターでは、所蔵する外国映画の中から、これまで上映する機会の少なかった日本語字幕付きの12本の作品を上映します。

第一次世界大戦を描きヒトラー政権下のドイツで賞賛された潜水艦映画や、ソビエトの社会主義リアリズム路線を象徴する作品、サン＝テグジュペリ原作による恋と友情に満ちたフランスの航空映画、日本で初めて公開されたアルゼンチン映画、実体験を持つポーランド人女性監督による強制収容所の映画、戦後の新中国を代表するリアリズム作品など、ヨーロッパ、アジア、南米のさまざまな国で作られた映画を紹介します。

これらの作品は、当時の政治や社会の変動をわれわれに伝えると共に、今日の映画のスタイルや問題意識とも響き合い、歴史や映画史をふり返ることの大切さを教えてくれることでしょう。

また、本特集はこれらの作品を 35mm プリント(可燃性フィルムから不燃化して作製した2本のニュープリントを含む) で鑑賞できる稀少な機会となっております。当センターのアーカイブ活動の成果としてぜひご紹介いただけますよう、ご検討よろしく願いいたします。

【上映作品】

「F・P 1 號 應答なし」「朝やけ」「マクシムの青春」
 「最後の戦闘機」「夜の空を行く」「地中海」
 「誓ひの休暇」「黒い瞳の女」「罨 ブルーム事件」
 「アウシュウィツの女囚」「からすとすずめ」
 「白毛女」

(全12作品)



「黒い瞳の女」



「F・P 1 號 應答なし」

【開催概要】

会場：東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール (2階)

定員：310名 (各回入替制)

会期：2016年11月10日(木) - 11月23日(水・祝)

料金：一般520円／高校・大学生・シニア310円／小・中学生100円／障害者(付添者は原則1名まで)、

キャンパスメンバーズは無料

お問い合わせ：09-5777-8600 (ハローダイヤル)

特別
上映会

『日本南極探検』デジタル復元版特別上映会

2016年11月24日(木) 3:00pm - / 7:00pm -

東京国立近代美術館フィルムセンター大ホール(2階)